

CEF2024 分科会 I-③

■ 日時

2024年3月9日(土) 10:00~11:45

■ テーマ

「これからの企業在籍型ジョブコーチを語ろう」

■ プログラムの概要

雇用率の引き上げに伴い、大企業では障害者雇用数を大幅に増やすことが求められ、いわゆる企業在籍型ジョブコーチの役割にも変化が起きてきている。その変化は、企業の業態や特例子会社の位置づけ、障害者雇用に関わる組織体制等によって様々であるが、本シンポジウムでは「障害者雇用の質」にこだわりつつ、企業在籍型ジョブコーチの「時代に合わせた変化はどうあるべきか」について意見交換を行いたい。

CEFで企業在籍型ジョブコーチに真正面から取り組むワークショップは初めてである。そこで企業におけるジョブコーチとして経験豊富なお二人に話題を提供して頂き、①現場で企業在籍型ジョブコーチが直面している変化及び課題は何か、②今後、どのようなあり方を目指していったら良いか、③そのためにジョブコーチの人材育成で求められることはなにか、以上の3つをテーマに会場の皆様と一緒にディスカッションを進めていきたい。

コーディネート： 小川 浩（大妻女子大学）

話題提供者： 伊集院貴子（第一生命チャレンジド株式会社）

遠藤貴子（MS&AD アビリティワークス株式会社）

■ プログラムの目的

「障害者雇用の質」にこだわり、企業在籍型ジョブコーチの「時代に合わせた変化はどうあるべきか」を考える。また、企業在籍型ジョブコーチ間のネットワーク形成を図る。

■ 内容と当日のながれ

時間	内 容 (合計 105分)	担当・発表者
●:●~	<ul style="list-style-type: none">・ イントロダクション：企業在籍型ジョブコーチを取り巻く変化（小川浩）・ 現場の視点①：第一生命チャレンジドの実践を通して（伊集院貴子）・ 会場を交えての意見交換・ 現場の視点②：MS&AD アビリティワークスの実践を通して（遠藤貴子）・ 会場を交えての意見交換・ まとめ	